

医務室からのお願い

入所期間中は、健康・感染管理上の観点より、以下の点についてお守り頂くようお願い致します。

- ・それぞれの疾病により、治療食を召し上がっている利用者の方がお見えになります。入所者同士での飲食物の交換や、そのやりとりは控えるようにして下さい。
- ・間食や調味料の使用は原則主治医の許可が必要となります。診察時にご確認ください。
- ・禁止されている場所での飲食は控えるようにして下さい。 ※可能の場所は自室もしくはデイホールになります。
- ・ペットボトルの使いまわしは、衛生管理上禁止となっていますので、ティーサーバーを使用される場合は、水筒をご用意ください。
- ・黙食、マスクの着用、手指衛生にご協力をお願いします。

医務からのご案内

日常の健康管理・衛生指導は主に看護師が担当します。体調がすぐれない場合は早めにお申し出下さい。

また、入所中下記の点についてご注意下さい。

《外来受診》

- ・定期的に主治医の診察がありますので、ご家族の同席をお願いいたします。
- ・受診の流れについては、初回に担当ソーシャルワーカーもしくは看護師が付き添って説明いたします。主な流れは以下の通りです。
「総合受付→受診→総合受付にて次回受診予約→院外薬局へFAX→会計→院外薬局へ薬を取りに行く」
- ・お薬は、院外の調剤薬局に取りに行ってください。お薬を取り行かれたら、医務室にお薬説明書をお持ち下さい。

《緊急時対応について》

名古屋市大学医学部附属リハビリテーション病院の外来診察時間以外において体調不良

が起きた場合は原則ご家族の付き添いの下、近医の受診となります。

- ・救急車での搬送が必要な場合、職員が同乗することができません。そのため、緊急搬送先をお伝えしますので、ご対応をお願いします。
- ・外泊中(土日、祝日)の痙攣発作、転倒し腫れや痛みが強い等、体に異常を感じた時は、地域の救急指定病院または急性期治療をされた病院等に受診して下さい。
(当院は救急指定病院ではないので、休日の対応は困難です)
受診後、施設に戻られる前には必ず状況についてご連絡下さい。
- ・外泊中に他院に受診し、お薬が処方された場合は、帰所時にお薬と説明書を職員へお渡し下さい。

《感染対策》

- ・急な発熱、下痢や嘔吐など、感染性の病気が疑われると医師が判断した場合、自宅療養となりますので、ご家族のお迎えをお願いいたします。
- ・外泊中、ご家族が感染症を疑う病気なった場合も、施設に戻る前に必ずご連絡下さい。状況によっては、帰所の延期、他院受診をお願いする場合があります。
その際は、延期分のお薬があるかをご確認下さい。

《その他》

- ・定期的に 3F 医務室で施設医面談を行います。面談日は、看護師より前の週にお知らせいたします。

血液、排せつ物、吐瀉物のよる汚染衣類の洗濯について

利用者様の衣類が感染の原因となる細菌、ウイルスに汚染されている可能性のある場合、感染症予防のため原則施設の洗濯機を使用することができません。例外として塩素系消毒剤（商品名ピューラックス）での消毒後は使用していただけます。

ピューラックスでの消毒は職員が対応しますが、消毒の際に衣類の色が落ちてしまうことがあります。消毒をご希望される場合は脱色の件についてご承知おきください。

消毒を希望されない場合、流水で汚れを落とすのみとさせていただきますので、自宅での洗濯をお願いします。